

平成30年度 第3回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	平成31年3月18日(月) 9:00~10:30					
2. 会場	魚沼市中央公民館 2階 中ホール					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
	会 長	樋口 健一	○	委 員	清水 明次	○
	副会長	橘 恵子	○	〃	羽鳥 敦子	欠(委任状)
	委 員	須佐 恵	欠	〃	小林美枝子	○
	〃	星 亜希	○	〃	佐藤まち子	○
	〃	林 麻衣子	欠(委任状)	〃	井川 智子	○
	〃	星 多美子	○	〃	梅田 愛子	○
	〃	今井 久子	○	〃	榎本 隆太	○
	〃	山本 都子	欠			
魚 沼 市						
魚沼市子ども・子育て会議事務局(教育委員会) ・教育長:梅田 勝 ・教育次長:堀沢 淳 ・子ども課長:広井美智子 ・子育て支援センター長:斎藤勝浩 ・保育園幼稚園係:係長 森山丈順 ・児童福祉係:係長 星野崇 ・健康課健康増進室保健班:係長 岡部忍						
4. 資料 (全て事前配布済)	・会議次第 ・委員、事務局名簿 ・子ども・子育て支援ニーズ調査 調査票 「小学校就学前のお子さん用」「小学生用」及び各依頼文 ・子ども・子育て支援ニーズ調査結果 「小学校就学前用」「小学生用」及び各その他記載欄					
5. 会議概要	(説明、質疑、意見、答弁内容等の要旨をまとめました。)					
星野係長	開会 (委員数15名中、出席委員11名、委任状2名。過半数以上の出席により会議開催の定足数を満たしている報告、資料確認、予定終了時間等の説明、録音の了解等を求めました。)					
梅田教育長	1 教育長挨拶 学期末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。開会中の2月定例議会は明日が最終日です。その中で、社会では児童虐待の問題が報道されていますが、魚沼市としての対応について、「もっと人材を増やして対応すべき」といった議員からの意見などもあります。文部科学省からは、2月1日から小中学校、保育園等欠席の児童を対象とした緊急調査があり、2月14日現在で3人の欠席について報告しています。					

<p>星野係長</p>	<p>また議会において、公立保育園の民営化に関して「早く話し合いをして、市民に情報を伝えてほしい。しかし慎重に進めてほしい。」と質問もありました。</p> <p>本日はニーズ調査の結果をもとに、委員の皆様から多くの意見等を出していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>以降につきましては、会長が議長となり進行をお願いします。</p>
<p>星野係長</p>	<p>ありがとうございます。それでは次第の2、報告について事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは新年度からの委員に関していくつか報告をさせていただきます。</p> <p>まず委員の公募についてです。1月25日号の市報において委員の公募を行い、2月25日で締め切ったところ5人の方々から申込が有りました。委員定数は条例で15人以内とされており、現在の委員は公募による者2人、他に各団体等から13人、計15人の委員で構成しております。</p> <p>4月1日からの委員構成についてですが、公募による委員を1人増の3人とさせていただき、各団体等からは1人減の12人の計15人をお願いしたいと思います。</p> <p>各団体等の枠の減員に関しまして、事務局で検討した結果、今回の改選では学童保育保護者会からの選出はしないことで関係者と協議させていただきました。</p> <p>理由としましては、公募により5人の方々から申し込みがあり、審査、選考の中で、応募した5人全員が意欲にあふれていると感じる方々ばかりで、何とか3人に絞り込んできました。定員の関係でどこかで調整を図る必要があります、全体の委員構成のバランスを考える中で、学童保育と小学校の保護者は、対象が重複することや学童保育の支援員さんから委員として参画していただいていることなどから、今回は学童保育の保護者会からは選出しないことで進めさせていただきました。</p> <p>他の委員の団体等の構成は、変更有りません。</p> <p>また、各団体の代表者宛に次期委員の推薦について依頼させていただいたところ、25日を報告期限とさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上報告とさせていただきます。</p>
<p>議長</p>	<p>新年度からの委員改選に関していくつか報告がありました。質問等がございましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>(質疑無し)</p>
<p>議長</p>	<p>質疑等無いようですので3の議事に入ります。子ども・子育て支援ニーズ調査の結果について、事務局から説明を求めます。</p>

星野係長

まず、配布数、回収数、回収率の報告をします。

小学校就学前用は配布数 1,077 部、回収数 778 部、回収率 72.2 パーセントです。

小学生用は配布数 855 部、回収数 677 部、回収率 79.2 パーセントです。小学校就学前用、小学生用ともに前回 5 年前の調査より回収率はやや下がりました。

各問の調査結果の表にある割合は、各問の未回答等の件数を含めた件数の総合計で割合を示しています。実態やニーズを詳しく把握するには、割合を算出する分母を見直して再計算する必要があります。本日は速報値ですので、次回以降の会議において、もうすこし詳しい資料を作成して配布します。

また、小学校就学前用の問 33 及び小学生用の問 22 については、回答者が日頃感じていること等についての自由記載欄です。まとめきれていないため、本日の資料として配布出来ずに申し訳ございません。新年度の会議で配布の予定です。自由記載欄にある意見等の一例として、保育料 2 子目以降無料化を歓迎する声や、市の施策に対する厳しいご意見もいただいています。

それでは調査結果の特徴的な部分について、前回 5 年前の調査と比較等のうえ、簡単に説明させていただきます。

まずは小学校就学前用をご覧ください。3 ページ問 9 です。子育てをする上で不安に思っていることの割合は、全体的に減少しています。問 10 の子育てをしていて良かった事は、7 項目中 6 項目で前回よりアップしています。4 ページ問 11①の母親の就労状況は、フルタイムの就労割合が増えています。6 ページ問 11③の就労したい子どもの年齢は、前回 2 歳がトップでしたが、今回は 3 歳でした。7 ページ以降に父親の就労状況結果がありますが、大きく変化はしていません。13 ページ問 13 ④は平日、定期的に教育、保育事業の利用理由についてです。回答項目に「市の取組として第 2 子以降の保育料等を無償としている」を新たに加えたところ、61 人の回答からマルがありました。問 14 の平日定期的に利用したい教育、保育事業についてですが、認可保育園、幼稚園、認定こども園の順に続いており、他の項目もご覧の数の利用希望があります。17 ページ問 16 の病気や怪我等で教育、保育事業を利用出来なかった場合の対処方法において、病児・病後児保育施設を利用したと回答した件数は 42 件でした。この件数を前の問において対処する必要があった 444 件から割合を再計算すると約 9.5 パーセントです。前回の 6 件、1.2 パーセントから増えています。また 19 ページ問 17 では、病気や怪我等で教育、保育事業を利用出来なかった場合の対処方法で、就労している母又は父が休んで看護した方々に対する病児・病後児保育の利用希望です。出来れば利用したいが 134 件、利用したいと思わないが 240 件です。休んで看護した方々の件数を分母として割合を再計算すると利用したいが約 28 パーセント、利用したいと思わないが約 51 パーセントの割合です。34 ページ問 26 の育児休業の取得状況です。母親は前回 375 件から今回 424 件、父親は前回 15 件から今回 16 件と増えています。35 ページに父親の取得期間の結果があり、短期間の取得が多いですが 100 日、200 日と長期の取得者もいます。38 ページ問 30 子育てに関して地域に望むことは、一番多い「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」をはじめ、上位 3 つは前回と同じでした。問

	<p>31の市に期待することは、前回「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」がトップでしたが、昨年度から2子目以降の保育料無料化を受けて今回は4番目となり、代わりに「親子連れで楽しめる場所を増やしてほしい」がトップとなりました。問32は新規の調査項目で、必要と感じる相談内容です。上から順に「発達の相談」、「子どもの健康・保健・医療の相談」、「産後ケア相談」と続きます。</p> <p>小学生用の結果も似たような傾向があります。21ページの問19以降は小学校就学前用の問30以降と内容が同じです。問19の地域に望むことの上位3つは小学校就学前と同じです。問20の市に期待することは、就学前で2番目だった「子ども医療費や児童手当の充実」がトップとなり、「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制の整備」、「親子連れで楽しめる場所を増やしてほしい」と続きます。最後の問21の必要と感じる相談内容は、就学前で一番多かった「発達の相談」が2番目となり代わりに「いじめ・不登校・不良行為に関する相談」が一番多い結果となりました。成長とともに相談内容も変わってくるのが結果から読み取れます。</p> <p>以上、簡単ですが説明させていただきました。</p>
議長	<p>それではニーズ調査の結果についての説明がありました。質問や意見はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>集計の仕方は年齢層によって考え方が違って来るかと思えます。集計方法は例えば年齢区分等によって集計することは可能でしょうか。</p>
星野係長	<p>クロス集計のことかと思えますが、例えば年齢毎に必要な項目についてクロス集計を行い、次回以降の会議で資料配布をしたいと考えています。</p>
委員	<p>回答者の相関関係がわかるような集計方法でしたでしょうか。</p>
広井課長	<p>今回はあくまで速報値ということで示しています。今後、必要な項目についてクロス集計をしていく予定です。今回は全て直営で集計しているため、時間がなく速報という事で本日お示ししております。申し訳ございません。</p>
議長	<p>今後年齢等の対象によって集計をして、傾向を見るなど詳しい分析をしていくということでしょうか。</p>
星野係長	<p>全項目とはいきませんが、必要な項目について分析していく予定です。</p>
委員	<p>集計で割合を算出する際の分母について、小学校就学前用の19ページ問17、病後児保育事業の「希望する事業形態」の分母は、その2つ前の問の「できれば利用したいと思った」と回答した件数を分母としたという説明だったと思えます。市の事業として進めていくことを考えると、分母は全体件数とした方が思えます。</p>

堀沢次長	全てのことに共通しますが、分母に未回答等を含めた方がふさわしいのか、含めない方がふさわしいのか様々かと思います。
委員	アンケートの問の目的によって、ご検討いただけたらと思います。
議長	問の項目によっては、対象が限定されているものもございますので、再度分母の考え方について検討をお願いします。
議長	項目によって未回答が多い問もありますが、未記入の人が多かったのでしょうか。
星野係長	未記入は多くあります。なお、何も全く記入しないで提出されたものが2件ありました。
議長	質問が進んでいくと未記入が多くなったり、書く方にするとよくわからなくなってくることもあったのではないのでしょうか。今後調査を行う際は、項目についても見直しなどの工夫が必要かと思います。
広井課長	前回調査との比較もありますので、簡単にはいかないと思いますが、回収率が下がった事もありますので、5年後となりますが項目について精査していく必要もあると思います。
委員	今回も5年前と同じ紙による回答方法でしたが、回答入力フォームを作り、グーグルなどインターネット等を活用した回答方法ができるようにすれば、回収率も上がると思うし、集計も楽になるのではないのでしょうか。そうすると紙も節約できますし、5年ではなく1年スパンでの調査も可能となるような気もしますがいかがでしょうか。
広井課長	5年計画となる子ども・子育て支援事業計画のための調査となりますので、調査については5年に1回となります。インターネット等を活用した回答方法については、回収率アップのため、検討していきたいと思います。
堀沢次長	仮にインターネットによる回答方法も導入するとしても、今現在は紙の調査票も送った上で、インターネットも利用できますといった方法になるかと思いますが、しかし将来的には、インターネット等による回答方法が主となっていくのかもしれませんが。
委員	子育てしながら調査の回答を記入していくと、子どもに邪魔されるなど大変なことも多く、寝かしつけながらスマホ等から入力できるようになるとありがたいと思います。

委員	子育て中の方々は、ネットを活用して出来る人と、そうでない人と両方いると思います。
委員	ネット等の活用によって集計された状態で回答されるので、集計も楽になると思います。
議長	<p>回収率を上げるために複数の回答方法やデジタル化が進んでいる時代ですので、事務局の負担軽減も含めて検討いただきたいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。全体に関する感想でも何でも結構ですので、全員からご発言をお願いします。</p>
委員	<p>以前、委員から学校教育課からもこの会議に参加いただいた方が良いのではといった話があったかと思います。弱視のことについて、子どもの目の状況を市で捉えるのは、多分3歳児健診の時かと思います。3歳児健診を過ぎると、次は就学児健診だと思います。就学時に3歳児の情報が切れているように感じます。弱視は保育園の以上見くらいで取り組まないと回復すべきものが回復しないこともあります。3歳児健診と就学児健診のすりあわせを、市で行ってほしいと思います。それによって弱視等の対応の必要性が確かめられると思います。この会議はもともと保育等の必要量の検討の場ではありますが、それらの関係者も集まることで弱視等の対応も協議できる場になると思います。</p>
議長	行政機構の横の連携をお願いしたいと思います。
広井課長	<p>組織機構の再編により、4月から健康増進室の母子保健係が子ども課の所管となります。妊娠、出産から子育て期まで全て子ども課で支援していく体制となります。いろんな意見を聞かせていただきながら、系統立てて取り組んでいきたいと思えます。またこの計画に併せて、母子保健計画の改訂も進めていくこととしています。いただいたご意見は承りました。</p>
委員	病後児保育のニーズについて、小出病院内にあるが、定員の関係や予約制のため利用しにくかったとの声がありましたので、制度を充実していただければありがたいと思いました。
委員	会議に出席させていただき、市の取組がわかり勉強になりました。いろんな回答、意見があったかと思いますので、それらを反映できるようにしていただきたいと思えます。
委員	自分の子育て時代と比べて、働きやすい環境づくりが行われていることにうらやましいと思いました。地域に望む声の回答で「子どもが事故や事件に巻き込まれな

委員	<p>いように見守ってくれること」が一番多い結果でしたが、地域の方々の話で地域の子どもでお互い顔がわからないと「おはよう」と声掛けもできないようになっている現状があり、変だなあと思うことがあります。</p> <p>発達の相談や障害児に対する相談など、困った時に気軽に相談出来るところが、ありそうでないと感じています。それらの相談をするにあたり、普通の相談より敷居が高く感じ、中々相談に行きにくい状況かと思えます。保健師さん等が察して、声を掛けてもらえると話をしやすくなると思います。そのような雰囲気を作っていたきたいと思えますし、サポートしていただけるような優しい魚沼市でいただけたら、ありがたいと思えます。</p>
委員	<p>心配事をどういうところに相談出来るかと考えた時に、窓口に行くのに勇気がいると感じます。保育士の先生や行政の連携があって「あの家庭は」と先生側からアプローチがあると良いと思えます。</p>
委員	<p>高学年になるにつれ、いじめ等が心配です。そうした相談等をどのように相談して良いかわからないところです。いろんな情報を発信していただき、どういう風に相談したら良いとか、どこにいったら良いかわかるようにしてほしいと感じました。</p>
委員	<p>子育てする前から、市のホームページ等で子育てに関する情報をよく見ていました。自分が子育てをするようになり、魚沼市の子育てが遅れていると感じるところがあります。ずっと魚沼市で生まれ育ち今まで「あたり前」と思っていたことが、そうでなく感じる部分があります。外からの意見をもらったり、自ら外に出て見てくることも重要かと思えます。今後魚沼市の子育てを充実していただき、子育て世代が市外から魚沼市に移り住んでいただき、子どもの数の減少が最小限になることを望みます。また2年間公募委員ということで、お世話になりましたが、今回5人の応募があったそうでいろんな方々からかかわっていただくことは素晴らしいと思えます</p>
委員	<p>アンケートの市に対する期待や子育てに必要なだと思っていることの間の回答を見る中で、今の親は何をどうして良いかわからない不安が多いと感じました。各専門家は、経験値があるから子どもにアプローチできて、不安を対処できるものだと思います。子どもの親世代を正しく知ることが大事と感じています。保育園や学童、学校の先生方も保護者に言えないこともあるかもしれませんが、お互い皆が子ども達のより良い環境を作ることが課題と思えますし、この会議に参加して考えていきたいと思えます。</p>
委員	<p>アンケートのその他記載欄を読みました。いろんな事業があるのに「やり方がわからない」「申込方法がわからない」といったことが多く書かれていたり、また</p>

	<p>「手間が面倒」といった内容や病後児保育も診断書が必要だったり、急には頼めないこと等の記載がありました。これだけいろいろ情報を出していても、まだまだ浸透していないようです。また、わかっているにもかかわらず面倒になってたどりつかないこともあるように感じました。</p> <p>事業がいくらあっても、やり方とかアプローチすることが皆に浸透していないようですし、各制度は生まれてからずっと続いていくものなので、途切れることなくつながっていくような方法を市で検討してほしいと思います。</p> <p>また、「どこにどう行って話をして良いかわからない」や「相談しにくい」と書かれていると切なく感じますし、「意見をくみとってもらいたい」といった気持ちもたくさんあると思います。それには余裕がないと対応出来ないと思いますので、人を増やすことが必要だと思います。こういった会議も事業についてだけでなく、いろんな世代の方が出席していますので、違う話も出して良いのではないかと思います。</p>
議長	<p>子ども課はこの計画をつくらなければいけないため大変かと思いますが、各委員からそれぞれ立場で、いろんな声がありますので、それらを吸上げられる場にしていった方が良いと思いました。本日の会議でも「手続き不安」、「どこに行って良いかわからない」などの声がありました。4月からは母子保健係も子ども課に加わるそうなので、子どもに関することは、まずは子ども課に行って、担当窓口案内していただく道案内役的な人がいると良いのではないかと感じました。大変ありがとうございました。</p>
議長	<p>議事については以上ですが、4. その他はございますか。</p>
森山係長	<p>1点報告です。子育て安心プランという国の制度があります。2020年までに待機児童をゼロにしていくスローガンのプランです。市の計画とは別に動いているものですが、似たような内容となっています。平成30年度実績をまとめていくにあたり、この場で検討した方が良いのかもしれませんが、事務局で数値をまとめ報告させていただきますのでご了承願います。</p>
議長	<p>他に無いようでしたらこれで議事を終了します。</p>
星野係長	<p>スムーズな議事進行を大変ありがとうございました。最後に堀沢教育次長より閉会のご挨拶を申し上げます。</p>
堀沢次長	<p>委員さんから「挨拶が簡単にできない」といった報告もありました。学校では挨拶運動が取り組まれています。子どもに声をかけた県職員が通報されたりとそんな時代になってきています。また障害児に優しい魚沼市にといったご意見もいただきました。私が29年度に教育委員会に来た時に学校の介助員は25人でしたが、30年度の予算要求時は27人、31年度の予算要求は32人です。学校において支援が必要な子どもが増えてお</p>

<p>り、保育園等でも同様かと思しますので、それにあわせてきめ細かい対応をしていきたいと考えています。また、相談窓口に関するお話もありました。子育て支援センターが主担当となり、「子育て世代包括支援センター」を平成 32 年に設置します。妊娠、出産から子育て期まで一貫した窓口としてつながった支援をしていくこととなります。各制度については、子ども課で発行している「子育て便利帳」に簡単にまとめてあります。ぜひ活用いただきたいと思ひます。最後に学校教育課からもこの会議の構成に含めた方がというお話もいただきました。内部検討していきたいと思ひます。</p> <p>大変ありがとうございました。</p>
